

化学基礎原料「エステル」のドラム充填の現場より

クボタ耐圧防爆型液体充填機を、多数ご使用いただいているお客様の現場からレポートします。お訪ねしたお客様は和歌山のT社様です。T社様は、植物性油脂や工業・医薬用の基礎原料を製造販売されています。取材させていただいた工場は、建屋全体が防爆区域に指定されており、照明から操作ボタンにいたるまで、すべて防爆構造のものをお使いです。



この工場では、基礎原料のエステルを製造、充填されていました。エステルは、油脂からくる特性と、他の多くの化合物と化学的構造の互換性をもつという特性から、あらゆる産業に関係する基礎原料だそうです。エステルが川下で製品化される分野は、食品(マーガリン、乳化剤)、医薬(軟膏基剤)、化粧品(保湿剤)、繊維、ゴム、プラスチック、顔料・インキ、紙・パルプ等など、多岐にわたると教えていただきました。

この工場に、新たに導入いただいたのが、クボタの耐圧防爆型充填機（下の写真）です。



重合釜の下に位置する液体充填機は、ドラム缶へのエステル充填に使用されます。

この液体充填機に採用されているのは、クボタのデジタルロードセルとコントローラFC-EXです。



FC-EXの充填不足を許さない充実の追加充填機能については、これまで何度かご紹介しましたね。また、デジタルロードセルによる高精度・高信頼性の計量により、正確な充填作業ができ、過充填によるロスコストの発生も防ぎます。さらに、計量データの記録・管理も可能ですので、従来タイプの機械式充填機にはないお役立ち機能が満載です。

T社様では、オプションのタレ受け機構も採用いただいております。バルブ閉後の液ダレが、商品容器ともいべきドラム缶上面を汚すのを防止されています。



T社様では、他社製のものも含めて、多数の液体充填機をお使いですが、今後はクボタ製の充填機に順次入れ替えていただけるそうです。上記のような性能を高く評価していただいているのに加え、営業・サービスの迅速な対応がよいとお褒めのお言葉をいただきました。今後ともお客様のご満足を極大化するよう、活動していきたいと改めて感じいった次第です。

※「FC-EX」は2023年12月末日をもって受注終了しております。

後継機種は「KC-EX」となります。

KC-EX 製品情報はこちらをご参照ください。

<https://scale.kubota.co.jp/products/耐圧防爆型指示計-kc-ex.html>